

バイオセーフティ国際シンポジウム
アジアパシフィックにおけるバイオセーフティ

主催：国立感染症研究所

共催：日本バイオセーフティ学会、日本ウイルス学会、日本細菌学会、日本臨床微生物学会

新興・再興感染症研究事業「病原微生物の取扱いにおけるバイオセーフティの強化及びバイオセキュリティシステムの構築に関する研究（杉山和良）」

後援：日本感染症学会

日時：2006年11月24日 13:30 - 17:00

場所：明治製菓講堂 東京（中央区京橋）

参加無料・同時通訳あり

プログラム

- 13:30 - 13:40 開会挨拶 (国立感染症研究所 副所長) 渡邊治雄
- 13:40 - 13:55 日本のバイオセーフティの状況 (JBSA 理事長) 倉田 毅
- 13:55 - 14:10 アメリカバイオセーフティ学会の活動 (ABSA 会長) Dr. Glenn Funk
- 14:10 - 14:25 アジアパシフィックバイオセーフティ学会 (A-PBA) の活動 (A-PBA 会長) Dr. Ai Ee Ling
- 14:25 - 14:40 台湾のバイオセーフティの状況 (台湾 CDC 部長) Dr Ho-Shen Wu
- 14:40 - 14:55 韓国のバイオセーフティの状況 (韓国NIH院長) Dr. Hae Wol Cho
- 14:55 - 15:20 WPRO のバイオセーフティの取組み (WHO WPRO 感染症対策統括官) 葛西 健
- 15:20 - 15:30 休憩
- 15:30 - 16:15 バイオセーフティ実践におけるリスク評価の考え (ABSA 会長) Dr. Glenn Funk

16 : 15 - 16 : 55 感染性の高い病原体の検体採取と初期検査

(ABSA バイオセキュリティタスクフォース長) Dr. Barbara Johnson

16 : 55 - 17 : 00 閉会挨拶

(国立感染症研究所 所長) 宮村達男